# Usb-HUB28

IPC-USB001-28

# 取扱説明書

Ver2

MT-planning

エム・ティ・プランニング株式会社

# 目次

## 製品について



## 操作方法について



## 付録：iPadのデータ一括同期方法



このたびはUsb-HUB28のご購入ありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
ご不明な点などがありましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

本取扱説明書は、弊社サイトでもPDFデータをダウンロードできます。
http://www.mt-planning.com/products/usb-hub28/120913_UH28_instruction.pdf

| お問い合わせ先 | エム・ティ・プランニング株式会社<br>03-5489-3815 |
|---|---|

製品について

## 同梱品の確認

まず最初に、下記の6点が同梱されているかどうか
ご確認ください。

| | |
|---|---|
| Usb-HUB28本体（1個） | PC接続用USBケーブル（1個） |
| ACケーブル（1本） | 保証書（1部） ※ |
| Usb-HUB28製品仕様書(1冊) | 本書(1冊) |

※保証書は納品書と一緒に別途郵送いたします。

製品について

# 利用上のご注意

Usb-HUB28ご利用にあたっての注意事項をお読みください。

## 注意事項

本取扱説明書に記載しているソフトウエアに関する
お問い合わせは
各製品のお問い合せ窓口にお問い合わせください。

## 禁止事項

●不正部品接続は事故のもと
正面のUsbポートにはiPadのUSBケーブル以外は接続しないでください。

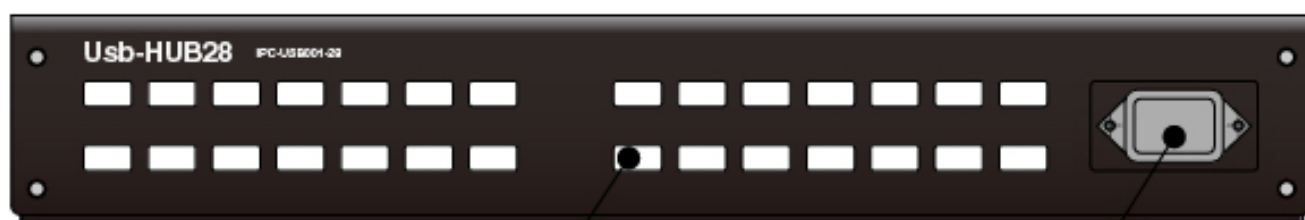
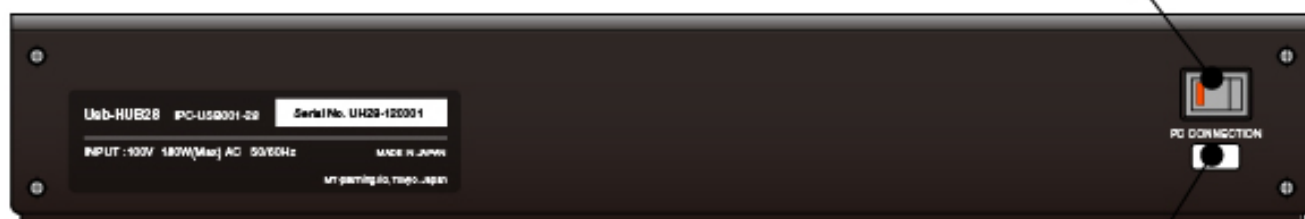
●通気阻害は事故のもと
上面に物を置かないでください。

●屋外や悪環境での利用は事故のもと
屋外での利用は想定しておりません。
（本製品は搭載機器を粉塵や水等から守る機能は有していません）

**※詳細の注意事項は、Usb-HUB28製品仕様書を参照のこと**

製品について

# 各部のなまえ

## 正面からみる

## 背面からみる

同期 / 充電切り替えスイッチ
オレンジ色に点灯する方のスイッチを
押すと充電モードになります。

Usb-HUB28 付属の
PC 接続用ケーブル
差し込みポート

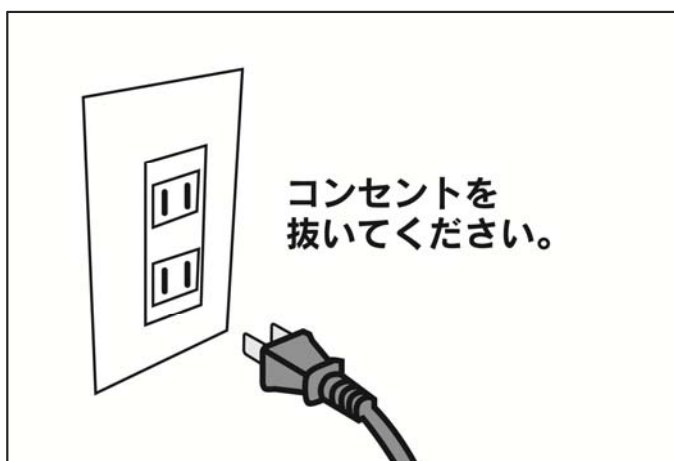
●PC接続用のケーブルは背面側にあります。お間違えのないようにしてください。

●上部には排気口がありますので、物を置かないでください。

操作方法について

# 電源のON/OFFについて

## 電源を入れる

電源を入れる場合は、コンセントにコードを差し込んでください。

## 電源を切る

コンセントから抜いてください。

機器の説明

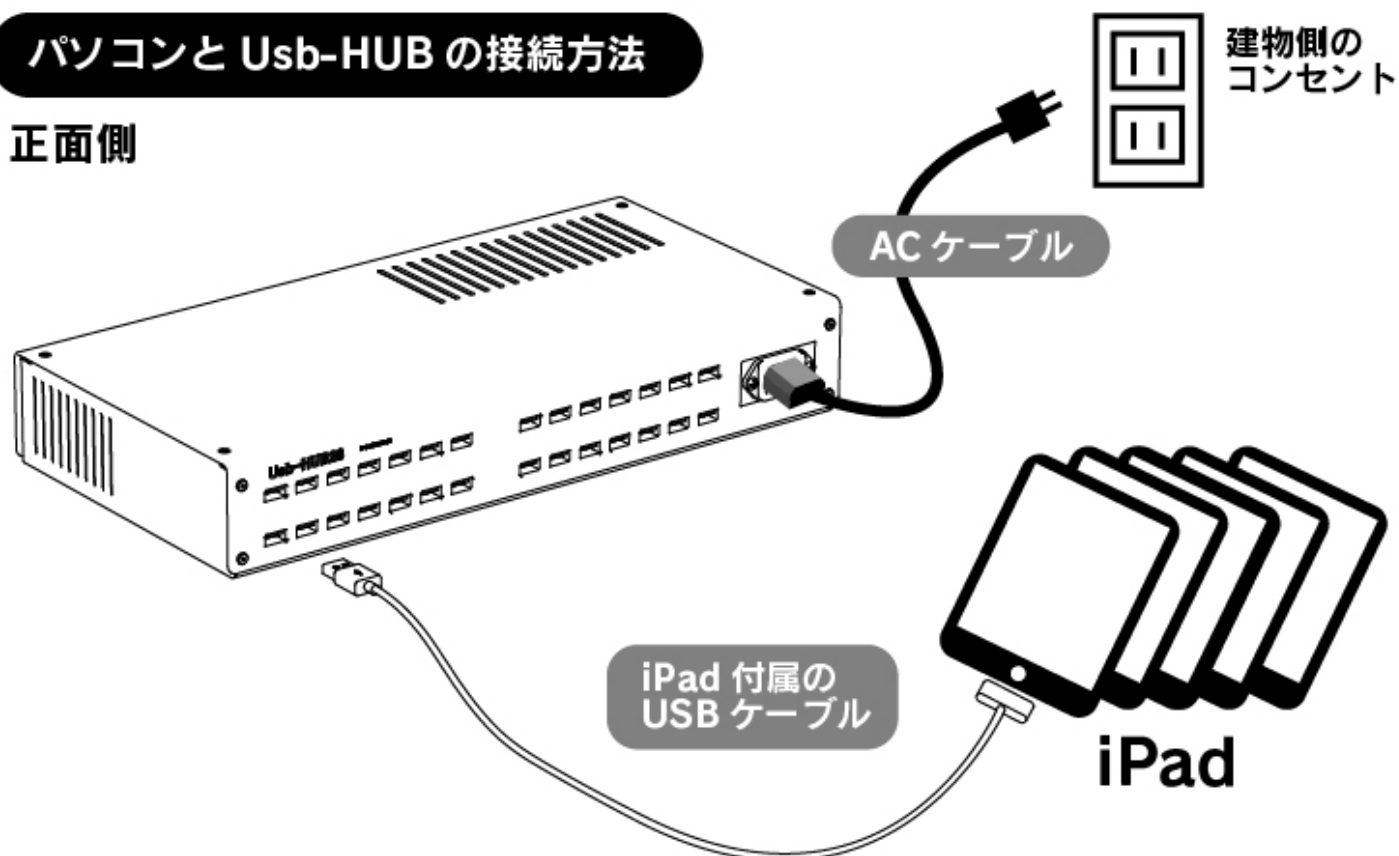
# iPad・PCとのケーブル接続

## パソコンと Usb-HUB の接続方法

### 正面側

建物側の
コンセント

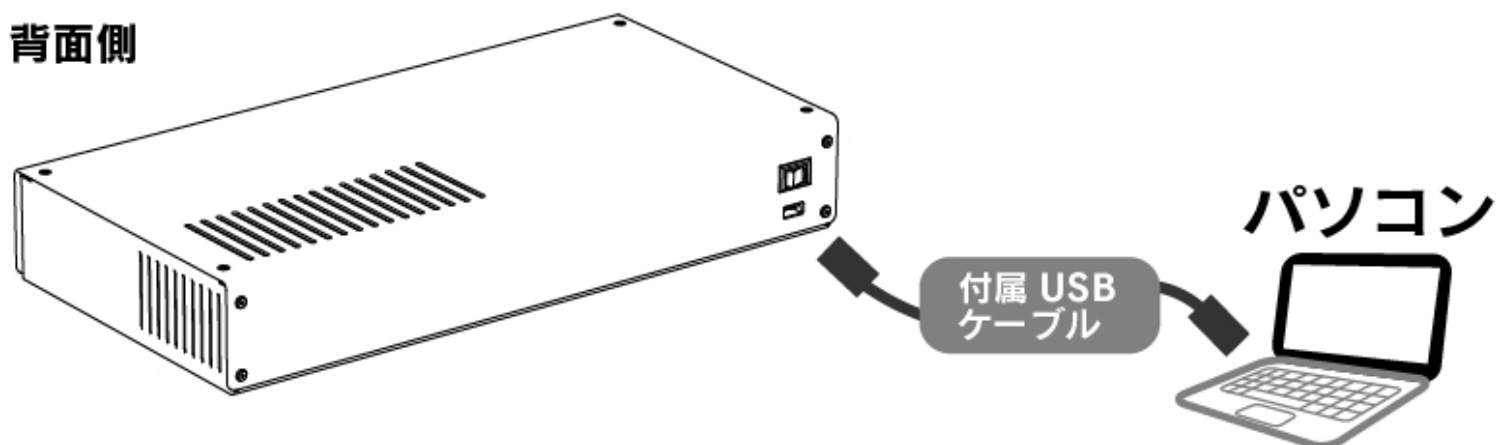
AC ケーブル

iPad 付属の
USB ケーブル

iPad

## パソコンと Usb-HUB の接続方法

### 背面側

パソコン

付属 USB
ケーブル

操作方法について

# モード切替スイッチ

本製品は「充電モード」と「データ通信モード」の二つの機能があります。

## 充電モード

充電モードでは、iPadを一斉充電させることができます。

オレンジ色のランプが点灯する側になります。

## データ通信モード

背面スイッチが右側に入っている（オレンジ色のランプが点灯しない）ときがデータ通信モードとなります。

データ通信モードでは、付録でご説明する「データ一括同期」を行うことができます。

※データ通信モード時は、「データ通信時差処理」のためにポートグループ毎（7ポート）に通信のタイミングがずれます。ご注意ください。

### データ通信モードの「データ通信時差処理」について

本製品はwindowsPCなどホストPC側の処理が適切に行われるように、7ポート毎、45秒おきに接続処理が実行されます。

**詳しくはP11の「データ通信時差処理」をご覧ください。**

操作方法について

# 充電の方法

充電を行うには、モード切替スイッチの「充電モード」（オレンジのランプが点灯する側）にスイッチを切り替えてください。

## 充電モード

充電モードでは、iPadを一斉充電させることができます。

オレンジ色のランプが点灯する側になります。

### 充電をストップしたいときは？

「データ通信モード」にスイッチを切り替えるとiPadへの充電はストップします。
再度のデータ通信を行わせたくない場合などには、PC接続用のUSBケーブルを外してから、スイッチを切り替えます。

操作方法について

# データ通信の方法

PCとiPad間のデータ通信を行う場合は、モード切替スイッチを「データ通信モード」(スイッチのランプが点灯しない側)に切り替えてください。

## データ通信モード

背面スイッチが右側に入っている(オレンジ色のランプが点灯しない)ときがデータ通信モードとなります。

データ通信モードでは、付録でご説明する「データ一括同期」を行うことができます。

※データ通信モード時は、「データ通信時差処理」のために、ポートグループ毎(7ポート)に通信のタイミングがずれます。ご注意ください。

### データ通信モードの「データ通信時差処理」について

本製品はwindowsPCなどホストPC側の処理が適切に行われるように、7ポート毎、45秒おきに接続処理が実行されます。

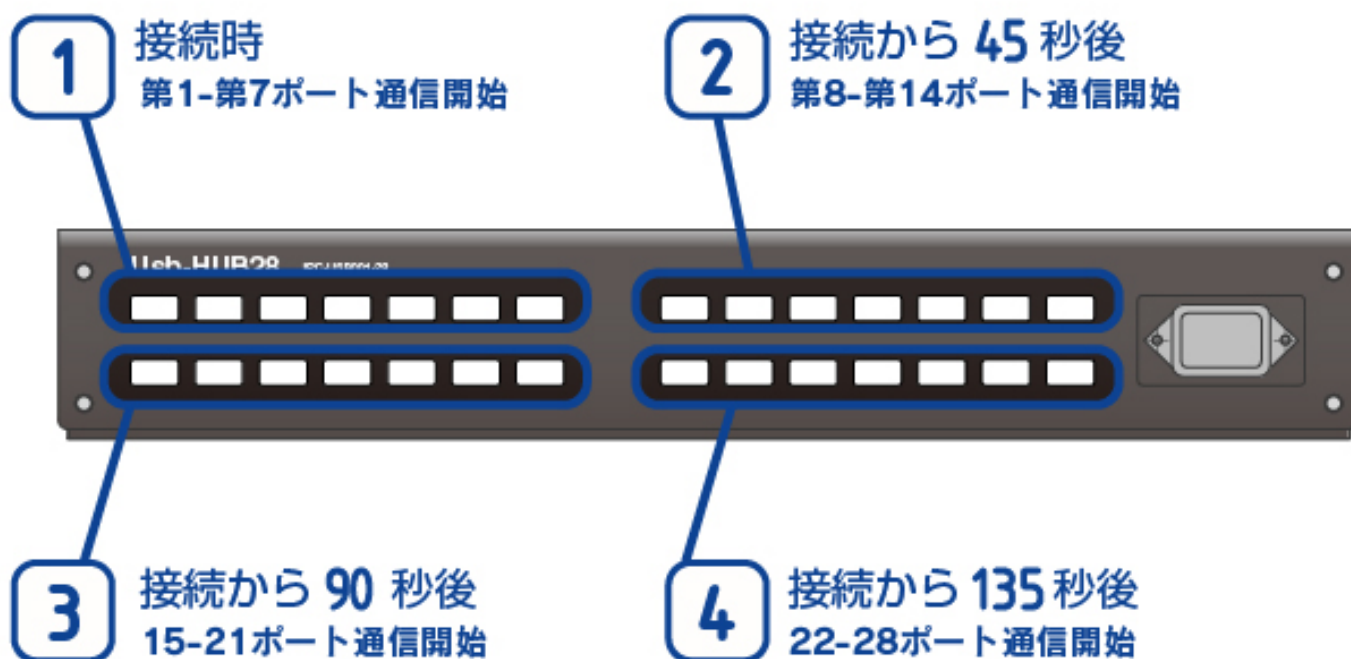
詳しくはP11の「データ通信時差処理」をご覧ください。

操作方法について

# データ通信時差処理

本製品は、データ通信モードにおけるUSBポート接続の開始にあたり、7ポートを1グループとして45秒おきにホストPCに接続してゆくように制御されています。

これはホストPC側におけるUSBインターフェイスの多数接続処理が適切に行われるようにするための機能です。

iPadの接続台数が少なく、通信開始タイミングの遅延がきになる場合、左上のポートから順に詰めてご利用ください。

**1以外のポートグループに挿しますと、すぐにデータ通信を行わないのでご注意ください。**

2, 3, 4番のポートグループに挿しますと、データ通信モードの状態にしても、データ通信を開始する時間は時差処理が行われますので、ご注意ください。

# iPadのデータ一括同期方法について

以下、付録といたしましてパソコンと複数台のiPadとのデータ一括同期について、簡単にご説明いたします。

※記載内容は本マニュアル制作時点におけるご参考情報となります。
※各ソフトウエア、アプリ等に関するお問い合わせは、各製造元もしくは販売店にお問い合わせいただくようお願いいたします。

目次

# はじめに

## 1. 概要

付録では、「iTunes」と「Apple Configurator」を利用した複数台データ一括同期の方法のご説明をします。

### iTunesで一括同期できるファイル

1）ブックデータ（PDFファイル、iBooks Authorで作成したデータ）
2）写真など（こちらは説明を省略させて頂きます。）

### Apple Configuratorの機能（Macのみ）について

**Apple Configuratorの機能は基本的に動作します。**
但し、付録では、ADOBEリーダーを用いたPDFファイル同期についての説明に限定させて頂きます。
※Apple ConfiguratorはMacのみ（OS X10.7（Lion）以降）でご利用できます。

### 複数台iPadとのデータ一括同期の注意

●データ一括同期をする際は、本製品の「データ通信モード」状態でご利用ください。（P10参照のこと）

●データ通信モード時は「データ通信時差処理」が行われることにご注意ください。（P11参照のこと）

●各ソフトウエア、OSについてのお問い合せは、各製造元もしくは、販売点にご相談ください。

## 2.ソフトウエア及び管理用PCについて

本付録で動作確認ができているソフトウエア及び管理用PCのスペックは以下の通りとなります。

**iOS**

iOS5

**iTunes**

iTunes10.6.1.7

**Apple Configurator**

Apple Configurator 1.1.2

※MAC OS 10.7(Lion)以上

**Macintosh**

MACBOOK AIR
CORE2 DUO 1.4GHz
(2GB)

**Windows**

Windows 7
Core i3 2.2GHz
(4GB)

### Windows利用時の注意

●Windows7(64bit)を推奨いたします。
●複数台接続時にiTunesの動作が不安定な場合がございます。
●Apple ConfiguratorはMACのみ(OS X10.7(Lion)以降)となります。

### データ一括同期で困ったら

弊社のウェブサイト上にFAQページを設けております。
ご参照ください。
http://www.mt-planning.com/products/usb-hub28/faq.html

iTunesを利用したデータ一括同期方法(Mac/Win)

# 1.初期設定

## 1. 初期設定の前に

本書では、下記の条件を前提として、同期のための初期設定を行います。

●iPadは購入時のままの状態を前提とします。

●管理パソコンにiTunesはインストールされている前提です。

●iPadにiBooksはインストールされていることを前提とします。
(※ひとつのiPadには、ひとつのAPPLE IDが必要です。)

●iOS 5.1, iTunes6での設定のご説明となります。

### 注意事項

●iTunesの基本的な使い方はappleのサイトをご覧ください。

●iPadの基本的な使い方に関するご質問は、appleまたは、iPadをご購入された販売店にお問い合わせください。

●iBooksをインストールする際には、1台のiPadにつき、対応するひとつのAPPLE IDが必要となります。
この点に及び、iBooksのインストールに関するお問い合わせは、appleまたは、iPadをご購入した販売店にお問い合わせください。

## iPadが購入時の状態になっていない場合

**購入時の状態でないiPadの場合はリセットをかけます。**
**（同期を行うiPad全て）**

**iPad**

設定＞一般＞リセット

「すべてのコンテンツと設定をリセット」を押して、初期化を行なってから、基本設定をしてください。

**※同期しようとするiPadが各個別に別々の設定を行なっている場合、正しく「ブック」内のデータが同期されない可能性があります。**

## 2　ステップ1：　iPadにiBooksがインストールされていることを確認する

iPad側

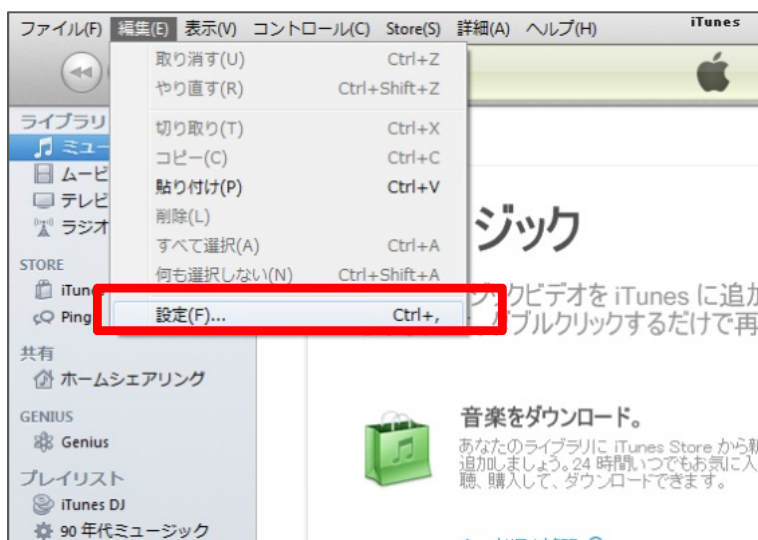
**全てのiPadで、iBooksが登録されているのを確認する**

登録されていない場合は、iBooksをインストールしてください。

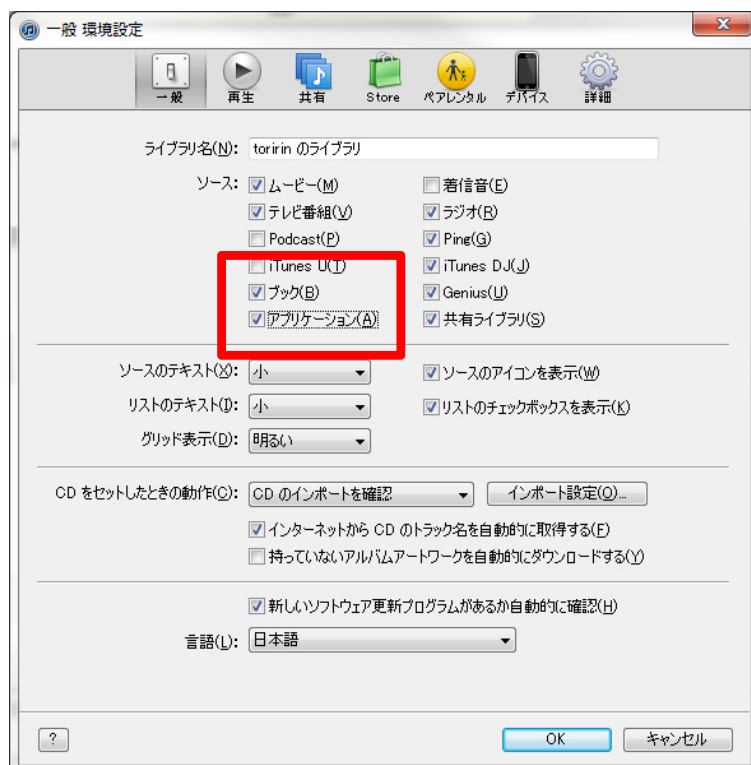
**iBooksのインストールについてのご質問は、Appleのサイト及び、iPadをご購入された販売店にお問い合わせください。**

## 3. ステップ2：iTunesの設定

PDF及びiBooks Authorで作成したブックファイルを同期するためには、iTunesのライブラリの「ブック」と「アプリケーション」を表示させる必要があります。

### 1.ライブラリの「ブック」「アプリケーション」を表示させる

パソコン側

iTunesを立ち上げる

編集＞**設定**
を開きます。

パソコン側

**「ブック」**と**「アプリケーション」**にチェックを入れます。

## 4 ステップ3: Usb-HUB28を接続する

残りのiPadの設定を行う前に、Usb-HUB28の利用準備をします。

### 1. Usb-HUB28の準備をする

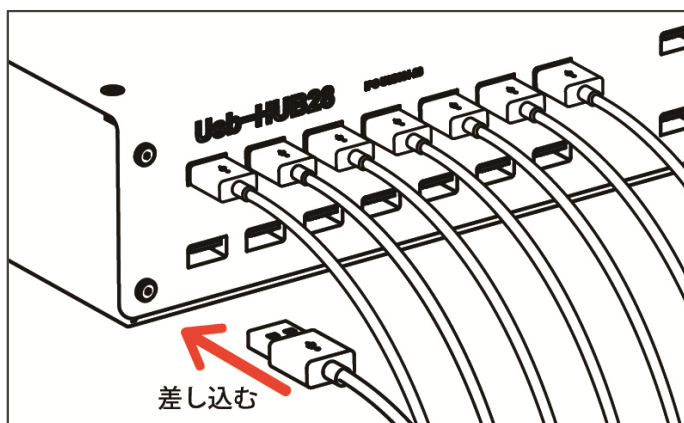
**Usb-HUB28**

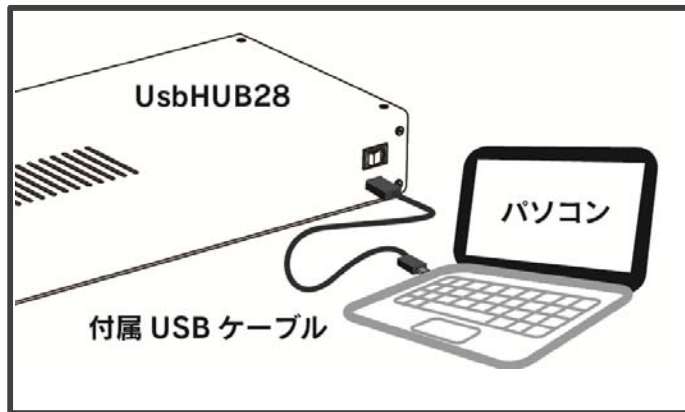
電源プラグをコンセントに差し込んでください。

電源プラグはしっかり奥まで差し込む。

**Usb-HUB28**

モード切り替えスイッチを
**『充電モード』**にします。

ランプが点灯する方です。

**Usb-HUB28**

すべてのiPadを接続します

Usb-HUB28

パソコンとUsb-HUB28の接続
USBケーブルをつなげます。

Usb-HUB28

切り替えスイッチを
『データ通信モード』にします。

ランプが点灯しない方です。

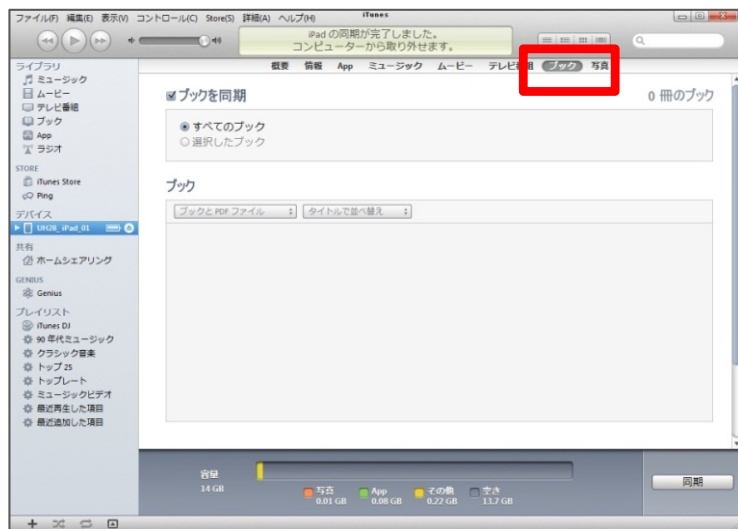
※データ通信モード時は、「データ通信時差処理」のために、ポートグループ毎（7ポート）に通信のタイミングがずれます。ご注意ください。【詳細は11ページ参照】

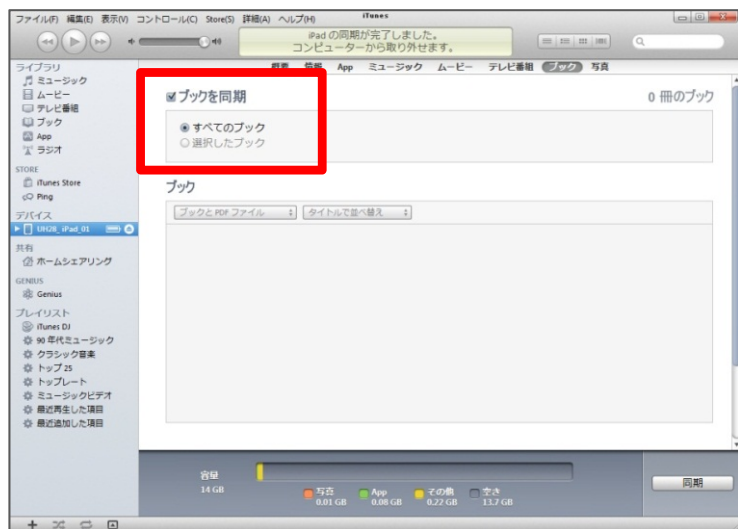
## データ通信モードの「データ通信時差処理」について

本製品はwindowsPCなどホストPC側の処理が適切に行われるように、
7ポート毎、45秒おきに接続処理が実行されます。

**詳しくはP11の「データ通信時差処理」をご覧ください。**

# 5 ステップ4 ：各デバイス設定の「ブック」画面を確認する

基本的には初期状態で登録しますと、そのまま利用できるのですが、念のために、デバイス設定が正しく行われているかどうかを各デバイスごとに確認します。

**パソコン側**

デバイスをクリックして、右側にある「ブック」ボタンを押してください。

**パソコン側**

「ブック」設定画面では、
下記の状態になっていることを確認してください。

各デバイスごとに確認してください。

これで初期設定は完了です。
ただし、ここではまだ同期していません。
次のページから同期の方法を見て行きましょう。

iTunesを利用したデータ一括同期方法（Mac/Win）

# 2.データ一括同期方法

## 1.Padへのデータ一括格納方法

### 1. Usb-HUB28の切り替えスイッチを『充電モード』にする

**Usb-HUB28**

切り替えスイッチの
『データ通信モード』をOFFにします。

ランプが点灯する方です。

### 2. ライブラリの「ブック」にPDFデータを入れる

**パソコン側**

ライブラリの「ブック」にPDFデータなどをドラッグして入れます。

初期状態では、左図のような画面になります。
ここに、PDFデータなどを入れるには、ドラッグして入れてください。

## 3. Usb-HUB28の切り替えスイッチを『データ通信モード』にする

Usb-HUB28

切り替えスイッチを
**『データ通信モード』**にします。

ランプが点灯しない方です。

※データ通信モード時は、「データ通信時差処理」のために、ポートグループ毎（7ポート）に通信のタイミングがずれます。ご注意ください。【詳細は11ページ参照】

## iTunesでの同期完了確認方法

パソコン側

### 同期中

同期中は、左メニューの「デバイス」の各デバイス名称の右側に下図の赤枠で囲んでいるように**『同期中マーク』**がついています。

### 同期完了

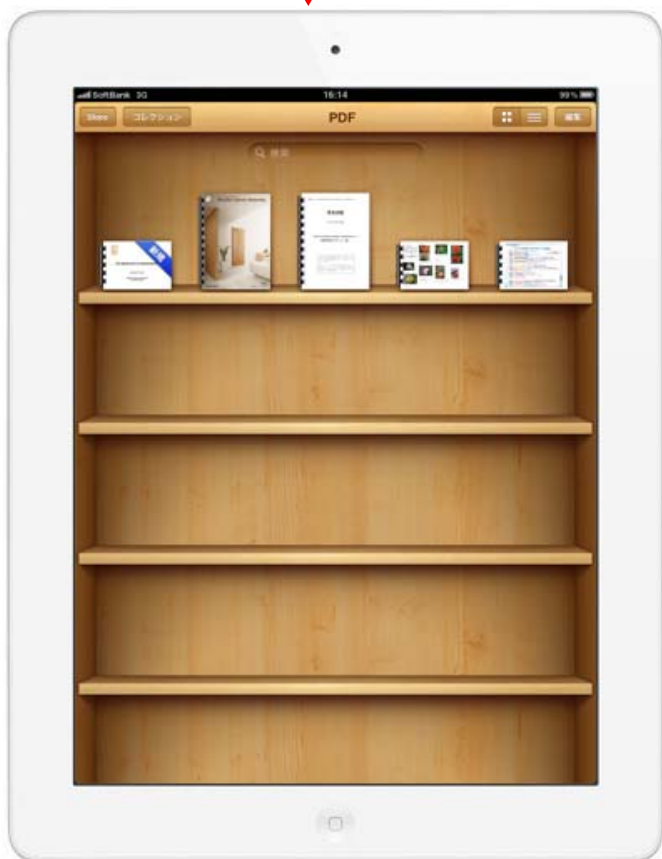
同期が完了すると、『取り出しマーク』になりますので、すべてのデバイスが『取り出しマーク』になった時点で同期は完了します。

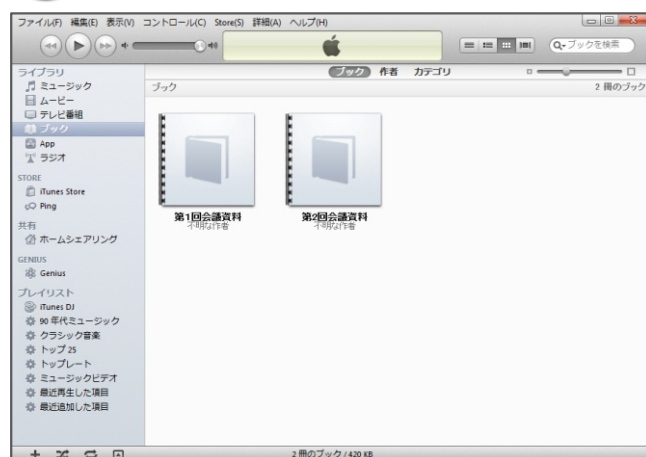
※iTunesに表示されるデバイス名称はお客様が入力した名称が表示されます。

## 4. iPadで確認する

iPadのメニュー画面にある
「iBooks」を押します。

画面左上の「コレクション」を押します。

※iBooks Authorで作成したブックデータは
「ブック」の方に入ります。

iTunesのライブラリの『ブック』と同じ内容
であれば同期完了です。

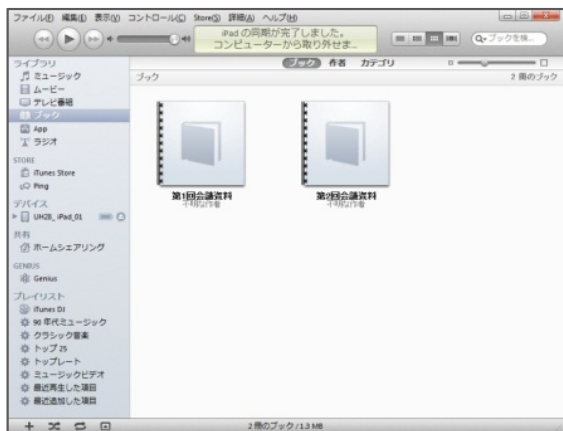
iTunesのライブラリの『ブック』画面

## 2. iPadからのデーター括消去方法

### 1. 切り替えスイッチを『充電モード』にする

Usb-HUB28

モード切り替えスイッチを
『充電モード』にします。

ランプが点灯する方です。

### 2. ライブラリの「ブック」のデータを消去する

パソコン側

ライブラリのブックデータから、
消去したいデータを選択して、
「delete」キーを押す。

この画面で消去されたデータは、同期させることで、
接続されている全てのiPadからも削除されます。

### 2. 切り替えスイッチを『データ通信モード』にする

Usb-HUB28

モード切り替えスイッチを
『データ通信モード』にします。
ランプが点灯しない方です。

※データ通信モード時は、「データ通信時差処理」のために、ポートグループ毎（7ポート）に通信のタイミングがずれます。ご注意ください。【詳細は11ページ参照】

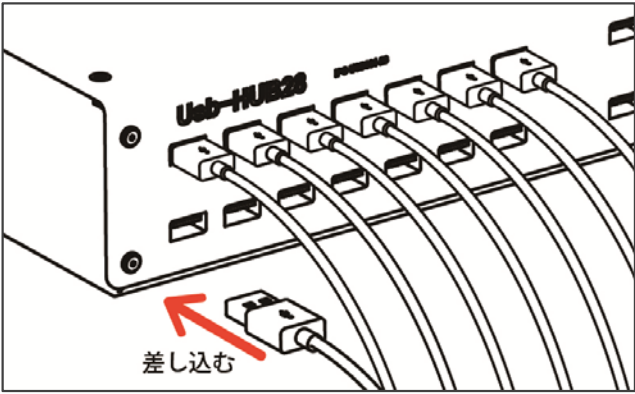
Apple Configuratorを利用したデーター括同期方法(Macのみ)

# 1.初期設定

## 1. ステップ1:Usb-HUB28を接続します

**Usb-HUB28**

モード切り替えスイッチが
『充電モード』になっていることを確認

ランプが点灯する方です。

**Usb-HUB28**

すべてのiPadが接続されていることを
確認

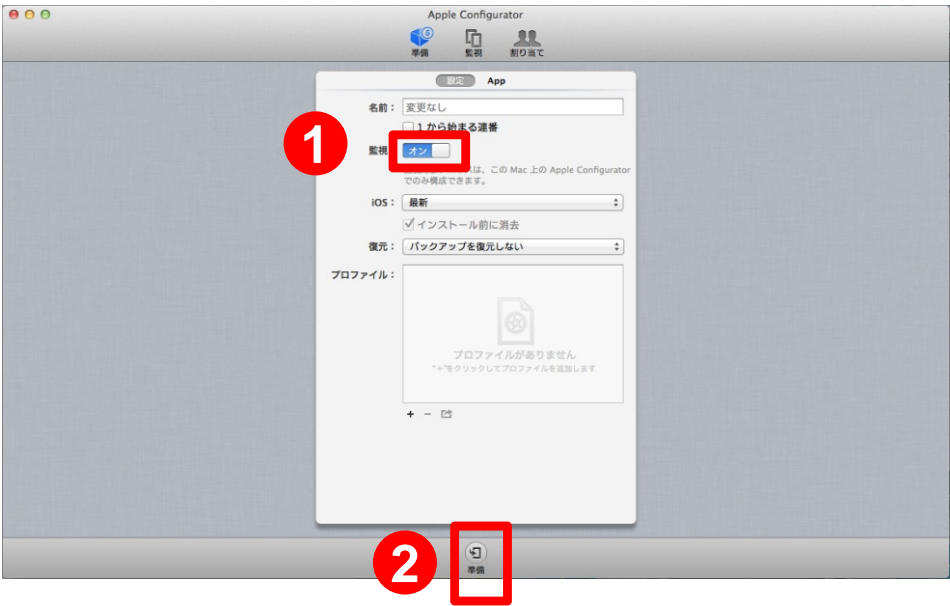
**Usb-HUB28**

モード切り替えスイッチを
『データ通信モード』にします。
ランプが点灯しない方です。

※データ通信モード時は、「データ通信時差処理」のために、ポートグループ毎(7ポート)に通信のタイミングがずれます。ご注意ください。
【詳細は11ページ参照】

## 2.ステップ2:　Apple Configuratorの初期設定

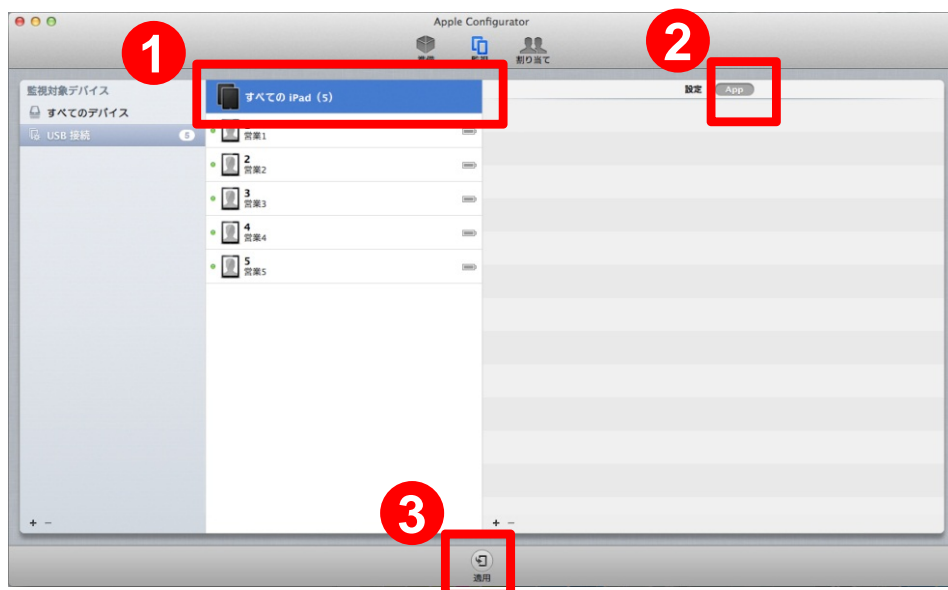
ここでは、アプリ及びPDFファイルの同期を実現するために限定した設定方法をご説明いたします。その他の設定につきましては、appleのウェブサイトを御覧ください。

**1.　準備ボタンを押して設定を開始します。**

パソコン側

準備画面を開きます。
1）監視：**オン**
2）画面下の**「準備」**ボタンを押す

パソコン側

左のような画面になったら**「監視」**ボタンを押して次の設定に入ります。

## 2. 監視画面での設定（同期したいアプリの登録　例としてAdobe Readerを同期させます）

パソコン側

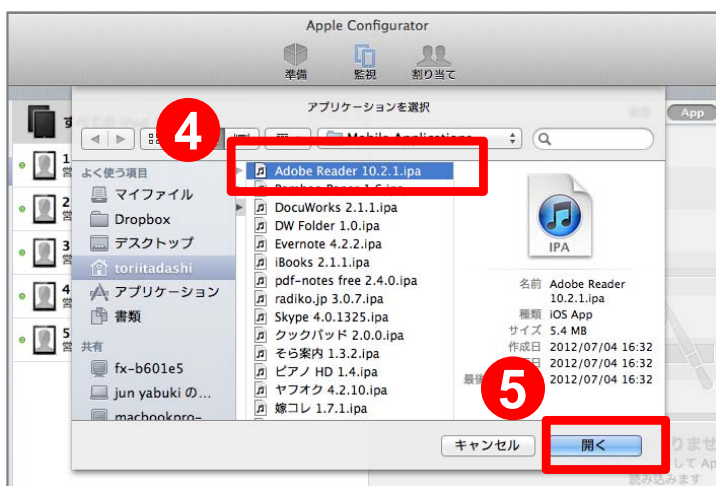
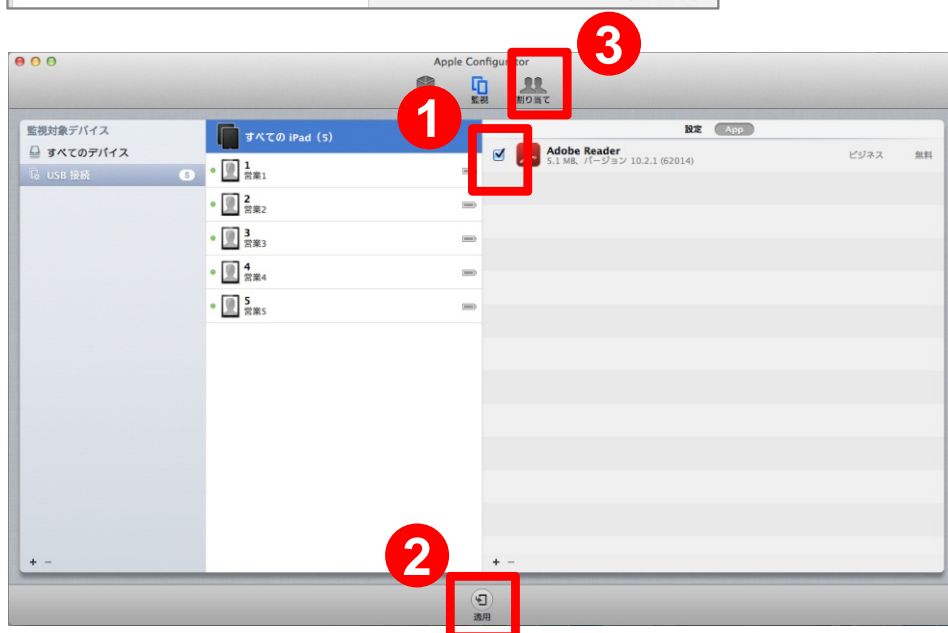
同期したいアプリを登録します。

1)「すべてのiPad」をクリックします。

2)次に、画面右側の「APP」ボタンを押します。

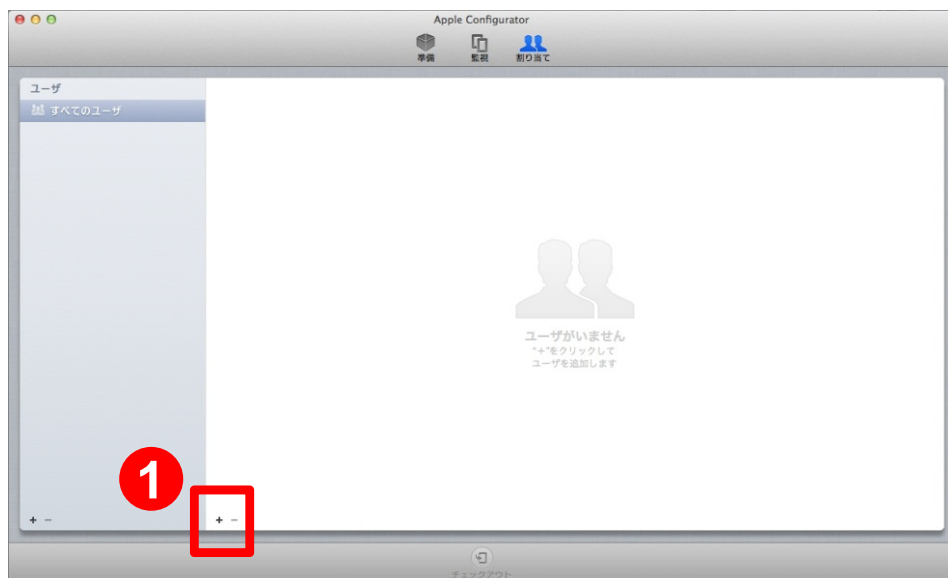
3)APPエリア内の左下にある「＋」ボタンを押します。

4)「Adobe reader」を選択

5)「開く」を押す

アプリはあらかじめiTunesなどからダンロードしてください。

パソコン側

アプリが登録されたことを確認し、

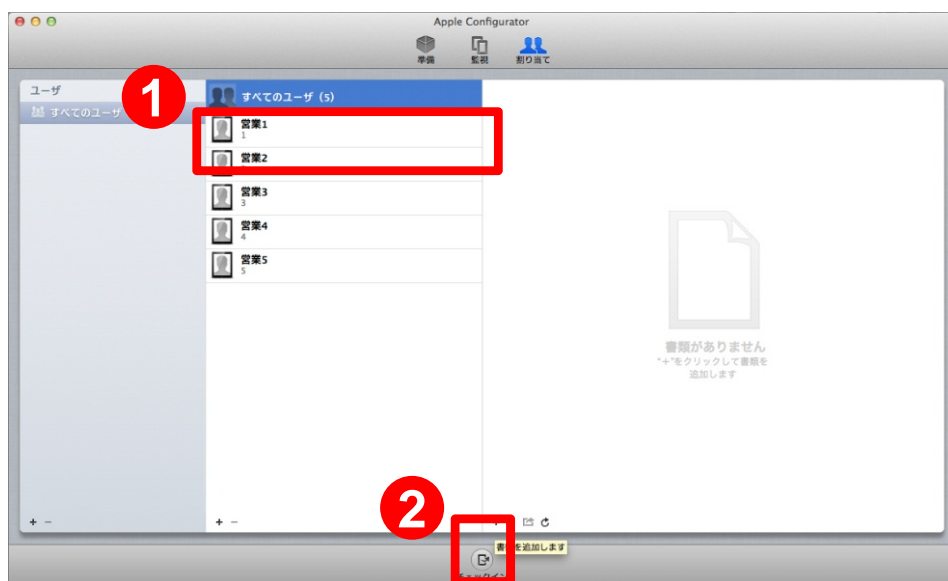
1)同期したいアプリにチェック
2)画面下の「適用」ボタンを押す
3)「割り当て」画面に移動する

3. 割り当て画面の設定（ユーザーの作成とデバイスの割り当て）

パソコン側

最初にユーザーを台数分作成します。

1）左図の赤枠の「＋」ボタンを押す。

ここでは「営業1」-「営業5」とつけています。

※名称は任意です。

パソコン側

それぞれのユーザー毎にチェックアウトをします。

1）ユーザーを選択

2）「チェックアウト」ボタンを押す。

これらを全ユーザー分繰り返します。

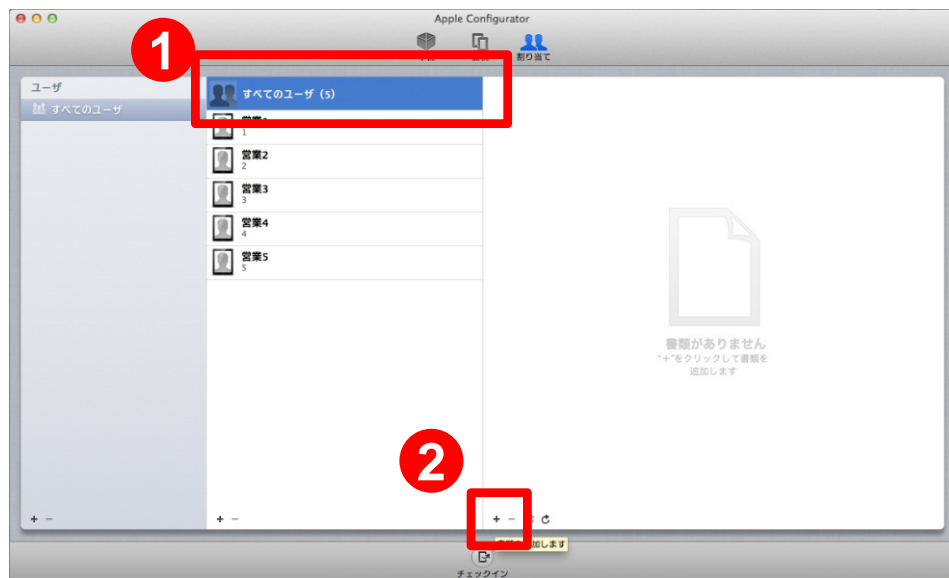
同期をさせたいアプリの登録と、
書類を同期するための初期設定が完了しました。

次のページからは、同期させたい書類を格納方法と、消去方法について
ご説明します。

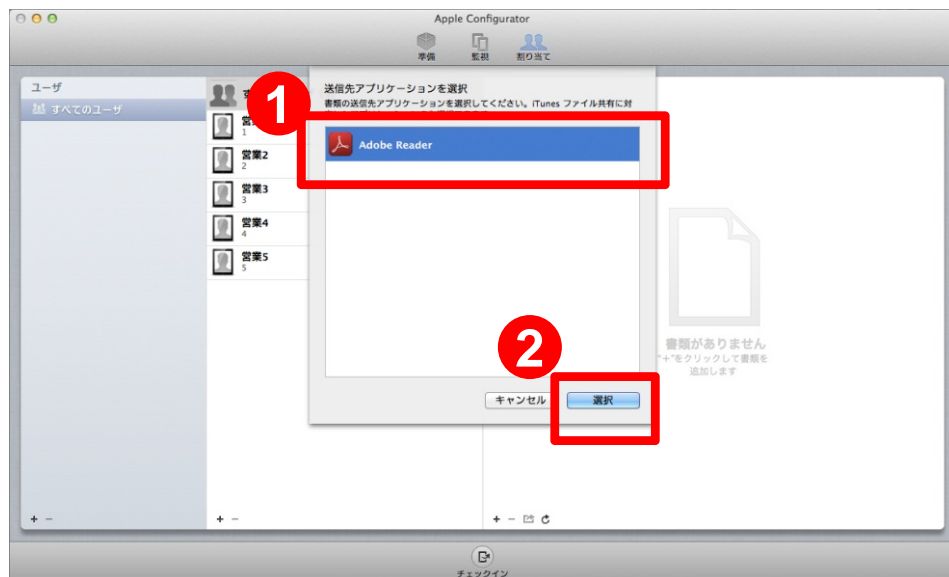
Apple Configuratorを利用したデーター括同期方法（MACのみ）
# 2.データー括同期方法

ここでは、Apple Configuratorを利用した、書類の格納方法と、消去方法についてご説明します。

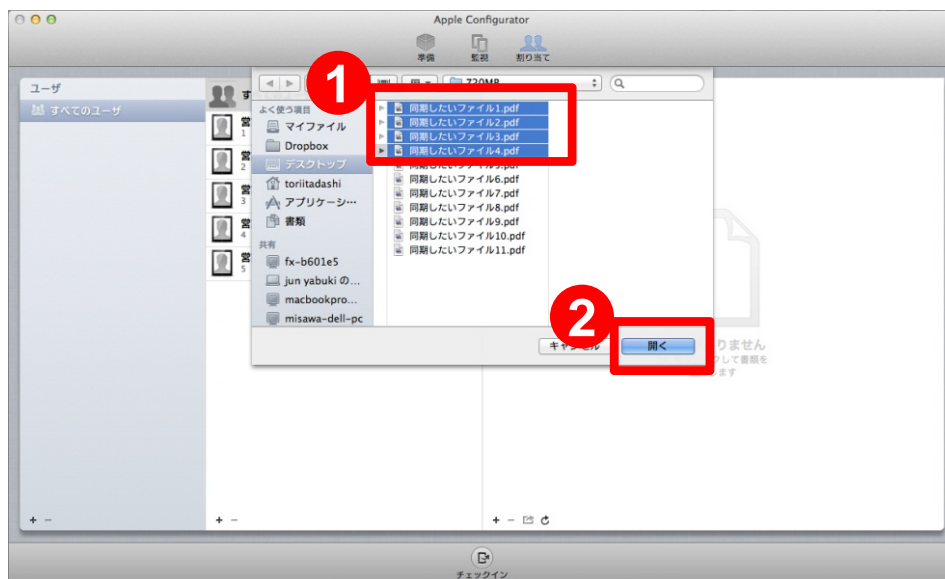
## 1. 書類の一括格納方法について

割り当て画面で操作します。

パソコン側

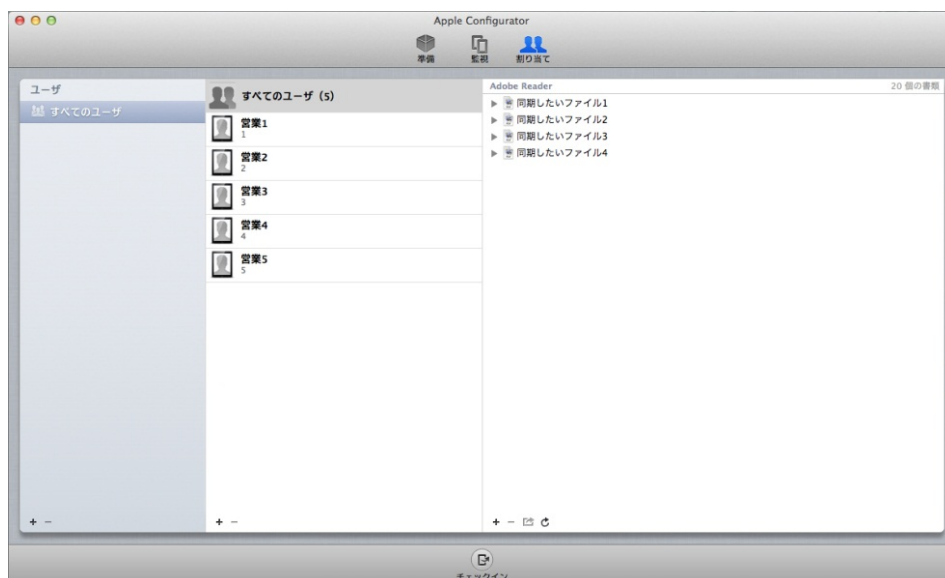
1）「全てのユーザー」を選択
2）同期したい書類を追加

3）左図の赤枠の「＋」ボタンを押す。

パソコン側

最初に同期するためのアプリの選択を行います。

1）ここでは先程入れた「Adobe Reader」をクリック
2）「選択」ボタンを押す。

## パソコン側

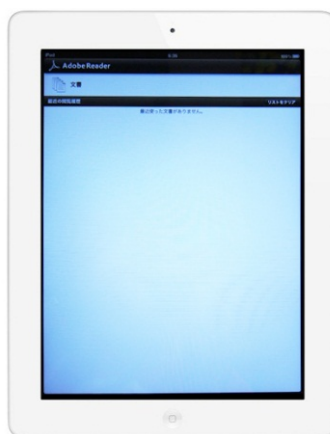
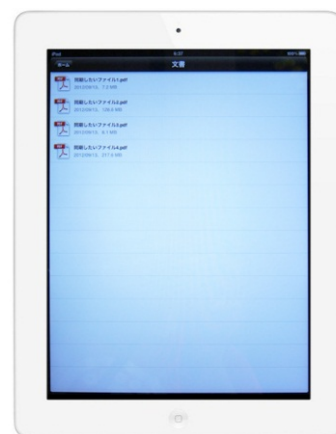
1）同期したい書類を追加
※複数選択もできます。

2）「開く」を押す

## パソコン側

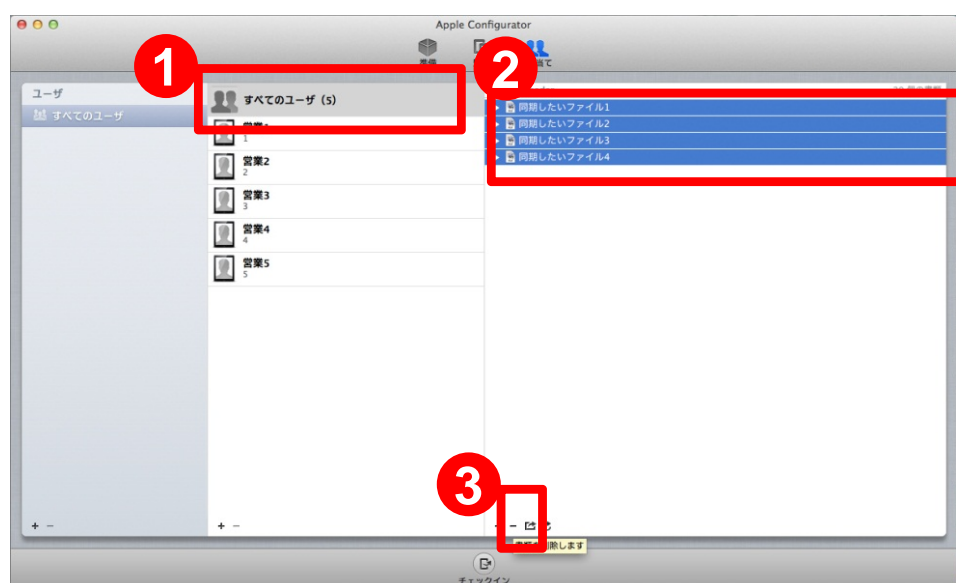
選択すると、自動的に同期が開始されます。

同期完了後の画面は左図のようになります。

## あとはiPadの「Adobe Reader」で内容を確認して完了です。

「Adobe Reader」アプリボタンを押す。

「文書」を押す

先程選択したPDFファイルが入っているのを確認

## 2. 書類の一括消去方法について

割り当て画面で操作します。

**パソコン側**

1)「全てのユーザー」を選択
2)消去したい書類を選択
3)左図の赤枠の「-」ボタンを押します。

**パソコン側**

完了すると左図のようになります。